

当院において腹部 CT 検査を受けられた方およびそのご家族の方へ

— 「PCCT の再構成条件が Radiomics 解析に及ぼす影響の検討」 へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学

研究責任者 学術研究院 保健学域 放射線技術科学分野 福井 亮平

1) 研究の背景および目的

肺がんや肝臓がんなど一口に「がん」と言っても、細胞レベルで見ると様々な種類のがんが存在し、がんの種類により治療方法は異なります。がんの種類はがん細胞自体を取り出して顕微鏡で観察することで確認できますが、そのためにはがん組織の生検または手術で取り出す必要があります。しかし、これらの方法は痛みが強く、身体への負担も非常に大きくなります。

近年、研究成果が続々と報告されている解析方法に Radiomics (レディオミクス、ラジオミクス) と呼ばれる方法があります。この Radiomics では、CT や MRI 画像に写ったがん組織を詳しく解析することで、生検などでがん組織を得なくてもがんの種類を特定する、といった技術になっています。

一方、昨年より従来とは全く異なる仕組みで画像を作成する CT 装置 (PCCT) が国内で稼働しました。本装置は病院で使用され始めて間もないため、多くの特性がこれから調査される段階にあります。

この研究では、Radiomics 解析により腹部 PCCT 画像から腎がんの種類を分類する際に、CT 画像に使用する画像処理が影響するか検討します。

2) 研究対象者

2022年10月1日～2023年5月31日の間に岡山大学病院医療技術部放射線部門 CT 室において、診療を目的として腹部の PCCT による検査が実施された 18 歳以上の腎がんの方、80 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2025年3月31日

4) 研究方法

研究対象となった方の腹部 PCCT 画像を研究用のコンピュータへコピーします。これらの画像に対して Radiomics 解析を行うことで、腎がんの種類を分類できるか検証します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、診療を目的としてすでに実施された腹部 PCCT 画像を使用します。氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。加えて、年齢と診断名、画像の作成条件を収集します。また、あなたの情報が漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学保健学科棟内に設置された、パスワードで保護されたコンピュータに保存させていただきます。なお、本研究で得られた情報を他の研

究に用いる可能性はありません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

なお、この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学 学術研究院 保健学域 放射線技術科学分野

氏名：福井 亮平

電話：086-235-6907（平日：9時00分～17時00分）